

2. 濃尾地震に関する文献と資料

ここでは、濃尾地震に関する資料として、濃尾地震や濃尾平野の地下構造、活断層に関する論文や、教科書から以下を紹介する。

2.1 濃尾地震に関するもの

多くの論文では、濃尾地震における被害調査に関する検討と、岐阜 - 一宮線の活断層の存在についての検証について取り扱っている。村松 (1963) は、家屋の全壊率と地殻変動についての残されていた資料による詳細な調査を行ない、さらに岐阜 - 一宮線の存在を主張している。松田 (1974) は、1891 年濃尾地震の地表に現れた断層に沿った詳細な調査の結果を報告し、岐阜 - 一宮線については、根尾谷・梅原断層の左ずれに伴う末端隆起現象であると主張している。三雲と安藤 (1975) および Mikumo and Ando (1976) では、岐阜 - 一宮線の存在について、地殻変動の観測値を説明するようなモデルを提唱している。また、破壊開始点は従来いわれてきた水鳥 - 金原付近ではなく、断層の北端付近であることを主張。これまでの破壊開始点に関しては実は資料が乏しく、その根拠はあまり明らかではない。

また、最近発表された以下の論文では、濃尾地震の断層の今後の活動予測について取り扱っている。岡田ほか (1992) では、梅原断層のトレンチ調査の報告と梅原断層の活動度が根尾谷断層よりも低いこと、濃尾活断層系の予想される地震の規模について述べている。また、岡田と松田 (1992) では、水鳥断層と、その北西部の断層の性質と、濃尾地震の再来間隔について述べている。

参考文献

- 松田時彦 (1974) 1891 年濃尾地震の地震断層, 地震研究所研究速報, vol. 13, pp. 85-126
村松郁栄 (1963) 濃尾地震激震域の震度分布および地殻変動, 岐阜大学学芸学部研究報告 (自然科学), vol. 3, pp. 202-224
三雲健, 安藤雅孝 (1975) 濃尾地震の解析的再現, 科学, vol. 45, No. 1, pp. 50-58
岡田篤正, 松田時彦 (1992) 根尾村水鳥および中付近における根尾谷断層の第四紀後期の活動性, 地学雑誌, vol. 101, no. 1, pp. 19-37
岡田篤正, 渡辺満久, 安藤雅孝, 佃為成, 平野信一 (1992) 濃尾活断層系から発生した古地震の考察 - 梅原断層のトレンチ調査 -, 地学雑誌, vol. 101, no. 1, pp. 1-18

2.2 濃尾平野の地下構造に関するもの

濃尾地震に関して、また、濃尾地震の時に被害が大きかったという震裂波動線の生成原因について考察を行なう上で、濃尾平野の構造に関する知識は重要である。杉崎と柴田 (1961) では濃尾

平野で得られた地質柱状図に基づいて濃尾平野の地下構造について述べている。松沢 (1968) では、濃尾傾動地塊の地質構造と構造発展の歴史について述べている。桑原 (1968) では、濃尾盆地の傾動地塊運動に関して、テクトニクスを含めた考察を行なっている。桑原 (1985) では、濃尾平野の形成、構造発達史と地下の地質構造について述べている。

参考文献

- 桑原徹 (1968) 濃尾盆地と傾動地塊運動, 第四紀研究, vol. 7, no. 4, pp. 235-247
- 桑原徹 (1985) 濃尾平野の地下水盆, 濃尾平野の地盤沈下と地下水 - 東海三県地盤沈下調査会編, 名古屋大学出版会, pp. 35-76
- 松沢勲 (1968) 本州中部における傾動運動について - 特に濃尾傾動地塊の構造発展 -, 地質学雑誌, vol. 74, No. 2, pp. 61-71
- 杉崎隆一, 柴田賢 (1961) 地下水の地球化学的研究 (第1報), 地学雑誌, vol. 67, no. 789, pp. 335-345

2.3 活断層一般

濃尾平野の周囲にはいくつかの活断層があり、これらによって濃尾平野の端が定義されている場合もある。これらに関する知識は濃尾平野についての考察を行なう上で重要である。濃尾平野西端にある養老断層の地下構造と活動の履歴として、戸田ほか (1997) を、濃尾平野西端にある桑名断層の活動に関する調査報告として、森ほか (1996) を、濃尾平野の東にある阿寺断層のトレンチ調査の報告として遠田ほか (1995) を挙げておく。

最後に、濃尾地震とは必ずしも直接的な関連はないが、活断層についての代表的な研究を載せておく。活断層一般の研究に関するレビューとして松田と岡田 (1968) を、プレートテクトニクスの観点から見た活断層についての記述として岡田と安藤 (1979) を挙げておく。

参考文献

- 松田時彦, 岡田篤正 (1968) 活断層, 第四紀研究, vol. 7, No. 4, pp. 188-199
- 森勇一, 海津正倫, 鬼頭剛, 川瀬久美子 (1996) 三重県桑名断層に伴う活構造についての一考察, 活断層研究, vol. 15, pp 17-22
- 岡田篤正, 安藤雅孝 (1979) 日本の活断層と地震, 科学, vol. 49, No. 3, pp. 158-159
- 戸田茂, 川崎慎治, 三田村宗樹, 中川康一, 香川敏幸, 横田裕, 小林芳正, 岡田篤正 (1997) 養老断層の地下構造と活動履歴 - 三重県多度町における地震探査 -, 地震 2, vol. 49, pp. 429-440
- 遠田普次, 井上大栄, 久保内明彦, 高瀬信一, 二階堂学 (1995) 阿寺断層系の活動と 1586 年天正地震: 小郷地区, 青野原地区, 伝田原地区トレンチ掘削調査, 地震 2, vol. 48, pp. 401-421